

交付税1本算定で失われる40億円 地域の衰退防ぎ活性化を図る

国が進めた平成大合併の最大の目的である地方交付税の削減額は、平成24年度の計算では鶴岡市で40億1千万円、酒田市（20億6千万円）、庄内町（5億9千万円）を合わせると66億7千

万円と計算され（上表）、平成28年度以降段階的に5年間で現実のものとなります。乖離額の割合は年々拡大されています。県内では庄内地方だけが合併を進めたために、66億円の削減で内陸との経済格差がますます広がるということです。

旧町村の庁舎が将来大山のように廃止されないかが心配されます。人口減少の時代に、職員の大規模削減となる市町村合併を決めた当時の首長、議員らの責任は重大といえます。

合併算定替とは 地域内分権の仕組みを

合併算定替とは、合併後でも合併がなかったものと仮定し、合併前の旧市町村ごとに算定した普通交付税の合算額を10力年保障し、その後5年間で段階的に削減され、本来の額（1本算定）になることです。

鶴岡市が予算と権限を本所に集中し、地域庁舎は窓口業務だけになるのでは、事務の効率化が図られても地域の活力は失われます。必要なことは、地域

庁舎の存続が浮上

失われる鶴岡市の40億円は、学校が2つ建設できる額、または職員500人分の人件費に相当します。鶴岡市の平成24年度決算では、実質単年度収支は18億円の黒字（23年度は32億円）です。で、40-18=22億円の財源不足と計算され、職員300人分の人件

費に相当し、交付税1本算定が迫れば、早晩旧町村の庁舎の存続問題などが浮上します。旧町村の庁舎が将来大山のように廃止されないかが心配されます。人口減少の時代に、職員の大規模削減となる市町村合併を決めた当時の首長、議員らの責任は重大といえます。

地域が特徴や個性を発揮できる「いろいろり社会」であつてよいという考え方です。ある地域は子育て支援が充実しているとか、学校教育が充実しているとか、高齢者福祉、障害者福祉に力をいれ

「民報藤島」900号達成おめでとう

平和を作る思い新たに 鈴木重雄（八色木）

昭和1桁生まれの私は、毎年8月になると終戦の日を思いだす。暗く悲しい戦争時代を生きて来たからです。第1次安倍内閣により2007年国民投票法が成立し憲法改正の道筋がつき、そして今、第2次安倍内閣の誕生で急速に改正の方向へと進んでいます。

だからこそ、その思いを書き、平和をつくる立場にたつて18年、「民報藤島」900号達成へのお祝いとしたのです。私は『藤島町戦没者追悼集』（昭和56年発行）を再度読み進むにつれて胸がつまり涙が出てきました。夫を戦陣に送った、豊栄の布川ムメエさん（長男・幸治さん）の夫への思いを抜粋して紹介させてください。平和の大切さを知って欲しいと思うのです。「夫にもとうとう赤紙が来たのです。夫は33歳になって初めて軍服を着ることに

なつた訳で、妻として何か可哀想な気持ちがありました。家を出るとき、（母と子供を頼むよ）と2度も3度も言われましたが、私はただ（あとは心配しないで）と言うのがやっとでした。軍隊に入つてからはほとんど便りがなくて心配していたら、南方戦線にいたことが判りました。

ああやつぱり忙しくても便りも出せないのだと、月夜の晩など、月を拝んで夫の無事を祈つたものです。もみじのような手を合わせて、「お父さん早く帰つて」と頭を下げる子供2人を抱きながら、それは真剣な気持ちでした。

しかし、私たちの祈りも空しく比島（フィリピン諸島）のルソン島で戦死したとの公報が役場から伝えられたのです。あの気持ちは、筆や言葉で表わすことは出来ません。ただ子供を抱きしめ姑と一緒に涙のある限り泣きました。」



平和は祈るものでも願うものでもない。人間が作るものです。

脳梗塞の前兆（一過性脳虚血発作）、症状消えても空振り恐れずすぐ受診

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

古新聞で恐縮だが赤旗日曜版7月28日号、「健康ライフ」の脳梗塞についてである。脳梗塞とは脳血管に血栓

（血の塊）が詰まり、血液の流れを止めてしまふこと。梗塞の範囲が広いほど症状が強くなるという。

50代後半の男性、片側の手に力が入らない、こんな初めて、でも4〜5分すると元に戻りホッ。ところが専門医は、ホッではなく非常に危険な状態の一過性脳虚血発作と言う。

- ①顔 笑ってイーッとしたとき片側がゆがむ。
- ②腕 両手を上げると片方が下がる。
- ③言葉 ラリルレロという、ろれつが回らない。

異常が消えたのは、血栓が溶け、血液の流れが再開したからで放置しておけば再発症もある。

米国心臓協会は前兆

後24時間以内の治療開始で、発症を80%低下させたと言つ。「前兆があったら、原則入院。大切な初期治療を逃さないためである。空振りを恐れず受診してください」と呼びかけている。

これを守った近くのTさんは、数カ月入院で今は前と同じく元気に仕事をしている。



ニュースアップはあるテレビ番組の「コーナー」です。

アップ（up）は形も音も単純で、意味もダウンに対し上、上方と分かりやすいので、日本語によく取り入れられます。ギョアップ、ビッグアップは英語そ

のままです。

一方ベースアップ、イメージアップなどは和製英語です。アップは副詞ですから、ベースとかイメージといった名詞とは結び付きにくいのです。newsは名詞でニュースですから、ニュースアップは造語に二重に無理をしています。

マナーアップ交差点と聞いたことがあります。交差点での運転作法の向上をはかるのは大切なことです。でもマナーは名詞です。そ

れにマナ

ーは仕方という意味で、行儀作法というのとは複数にしなければなりません。マナーアップは英語の作法に二重に反しています。

東部建設事務室入札結果（ ）内は予定価格 8月9日入札分

・藤島駅線道路改良工事（藤島地内）
 (株)五十嵐工務店 1,950,000円 (2,129,000円) 工期～10/31

(注) 駅前・石川屋前のT字路の角を拡幅します

民報藤島900号記念の集い

期日：8月31日（土）午後2時～4時
 場所 藤島駅前町内会館
 会費 男1,000円 女500円

連絡先：事務局 成田忠一（090-7323-5144）

旧憲法あらば獄舎に油蟬

工藤 博司



（画・加藤貞雄）

今年蝉の音が盛んである。広くもない庭だが、夏の間は少しでも涼しくありたいと思い、庭木をそのままにしていたのが、繁りに繁り、なにやら林のような感を呈している。

軍国主義復活振りは異常だ。「集団自衛権」の行使のために、法制局長官の人事まで牛耳り、その上、「秘密保全法」の新設までもくろんでいる。

日本敗戦の日、八月十五日の式典での首相宣言からは、遂にアジアの人々への「反省」と「不戦の誓い」の文言が姿を消した。

私達の世代は、徴兵を強制されないことと、思想や政治信条を理由に投獄されない時代を過ごして来た。これは新憲法の賜ものである。「旧憲法」復活とも言うべき「自民党憲法草案」が陽の目を見れば、またしても投獄の悲劇が生れる可能性がある。現憲法は命そのものである。



今年も終戦記念日が

今年も終戦記念日がめぐってきた。安倍首相は全国戦没者追悼式で「貴い命をささげられた、あなた方の犠牲の上に、いま、私たちが享受する平和と繁栄があります。御霊を悼んで平和を祈り…」と式辞を述べましたが、こりや大変だとの声が内外から上がっています。

▼安倍首相の第1次を含めて歴代の首相が表明していた、アジア諸国に対する加害の「反省」や「不戦の誓い」がなくなつたのです。

▼首相自身は靖国神社に総理大臣の名で玉串料を奉納したのです。

▼これが安倍首相の侵略戦争を否定し、戦争をしない国を戦争できる国に変えようとする動きと一致するから、隣国から批判と心配の声が上がつたのです。

▼自らは参拝せず、代

理人をして玉串料を奉納したのは、アメリカからの忠告があつたからだろうと言われているようです。

▼今回も多くの国会議員が参拝したとの事。お国のために犠牲になられた方々にお参りするのがなぜ悪い、信教の問題とか心の問題だと言つてますが、彼の人達、国会議員でなかつたら靖国神社へ参拝するでしょうか。国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑も犠牲者ですが、こちには行かないんでしょう？

▼ともあれ隣国との話し合いが遠くなつた。外交の停滞です。

▼ふたたび戦争と暗黒政治・ファシズムを許さないために、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を、と掲げる「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」の会員である私は、「若者を再び戦争へ送らない学徒出陣70周年の今年」というピラで反戦の呼びかけをしました。（石川）